

§ 5 学力検査問題等研究協議会における主な意見

1 自己推薦の実施について

中学校における適切な進路指導により、出願先高等学校のスクール・ポリシーを理解し、各高等学校が求める生徒像と合致している生徒の出願や、志望理由が明確な生徒の出願が広がった。

2 学力検査問題について

- ・ 国語では、出題内容や難易度、配点のいずれも適切であり、基礎的・基本的な知識及び技能を問う問題と思考力、判断力、表現力等を問う問題がバランスよく出題されていた。今後も、思考力、判断力、表現力等を問う記述式の問題を一層充実させるとともに、受検者が思考する時間と記述する時間のバランスを考慮した出題形式について工夫してほしい。
- ・ 数学では、基礎的・基本的な知識及び技能と思考力、判断力、表現力等を問う問題がバランスよく適切に出題されていた。今後も、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したりする力をみる問題の出題形式について、一層工夫してほしい。
- ・ 社会では、初見の史資料等から情報を読み取り、既習の知識と関連付けて思考、判断する問題や、思考したことを論理的に説明する問題が、適切に出題されていた。今後も、社会的な見方・考え方を働かせながら思考したことを、与えられた条件に応じて説明する問題を一層充実させるとともに、基礎的・基本的な知識及び技能を問う問題の出題形式について工夫してほしい。
- ・ 理科では、思考力、判断力、表現力等を問う問題について、記述式問題、計算問題、作図問題等の出題形式が工夫された適切な出題であった。今後も、観察、実験を取り上げ、科学的な探究の過程を通して思考、判断、表現させる問題の出題を一層充実させるとともに、基礎的・基本的な知識及び技能を問う問題の出題形式について工夫してほしい。
- ・ 英語では、基礎的・基本的な知識及び技能と思考力、判断力、表現力等を問う問題がバランスよく出題されていた。今後も、聞いたり読んだりして得られた情報を踏まえて、事実や自分の考え、気持ちなどを表現する力をみる問題の出題形式について、一層工夫してほしい。